

研究の経過

平成 17 年度

		実施状況（４～７月）	実施状況（８～３月）	課題等
理解啓発	保護者に対して	<p>４月の保護者会にて「生徒の個のニーズに対応する」指導を行うことを説明する。（４月）</p> <p>６月２４日の学校評議員会にて、特別支援教育について説明を実施。</p>	<p>今後も２・３学期に予定している保護者会の折に説明をする。</p> <p>説明資料などの作成。</p>	<p>本校は５月の段階でモデル校を受けることになったため、取り組みが浅く、保護者に向けての説明資料が不足している。今後、保護者の理解が得やすい資料をつくることが課題である。</p> <p>研修を通して、教職員の特別支援教育に対する理解を深める。</p>
	教員等に対して	<p>校長による資料提供と説明を実施。</p> <p>５月の企画調整会議及び職員会議にて、八王子市特別支援教育推進重点校を受けることを検討し、決定する。</p>	<p>教職員に対する研修の実施（９月１２日）</p> <p>講師 臨床心理士 （ながやまメンタルクリニック）</p> <p>教職員に対する研修の実施（１１月or１月）</p>	
	その他		<p>八王子養護学校へ訪問。</p> <p>学習教材、支援体制などの情報交換を実施（８月）</p> <p>* 今後、状況に応じて連携を深めていく。</p>	
校内体制の整備	特別支援教育コーディネーター	<p>伊東 純 （内訳：主幹、生活指導主任）</p>	<p>市の主催するコ・ディネータ・研修会に参加。</p>	<p>体制整備の促進</p> <p>どのような支援が本校の実態に即しているのか、現在検討をしている。</p>
	校内委員会	<p>４月から毎週１回にコ・ディネータ・中心に会を開催。（４～７月）</p> <p>* 教育相談連絡会を中心に特別支援教育の方向性を検討し、支援委員会を通して全校的な動きを確認している。</p>	<p>９月以降も毎週１回委員会を実施。（８～３月）</p> <p>専門家の派遣を検討（８月～）</p>	

平成 18 年度

第一回校内研修会(平成 18 年 5 月 1 日)

テーマ「二中の特別支援教育の現状」

1. 学習支援の現状と課題(15分)

基礎学力の定着、充実のために何をしようとして、何ができているか、何ができていないかの検証。及び今後、何をしていくべきか。

・教科、各クラス(担任)、各学年の取り組みの現状と課題を事前にアンケートをとっておき、まとめておく。

・具体的に何をしていくか。(家庭学習をどう構築させていくか等)

2. 不登校支援の現状と課題(15分)

八王子市「登校支援センター」の活動

校内の不登校対応の体勢についての確認

第二回校内研修会(平成 18 年 8 月 31 日)

テーマ「二中における今後の特別支援教育」

1. 特別支援教育の概要と今後の課題(10分)

2. 「見立て」と「個別指導計画の作成」演習

3. チェックシートによる生徒の実体把握(20分)

4. 個別支援ソフトを使った指導の「課題」と「ヒント」の整理

第三回校内研修会(平成 18 年 11 月 21 日)

テーマ「二中における特別支援教育の到達点」

1. 問題行動が顕著に表われた生徒への特別支援の在り方

2. 不登校傾向の生徒への対応と特別支援教室との連携の在り方

3. 人とのコミュニケーションが十分取れない生徒への特別支援の在り方

第三回校内研修会記録より

「二中における特別支援教育の到達点」(一部抜粋)

*問題行動が顕著に表われた生徒への特別支援の在り方

ア. 現状

・友人の気持が理解できない。

・自分の気持ちがコントロールできない。異装や暴言が目立ってきている。

イ. 課題

・生活のきまりがある中で、本人だけ特別に違反を認めてもいいのか。

・パニックを起こしたときに、どのように対応すればいいのか。

ウ. 指導の確認

・生活のきまりの遵守はきちんと本人に伝えるが、別室に呼んで、落ち着いた中でわかりやすく伝える。

様々なケースについて、現状・課題・指導の確認を行う。指導の方向については論議をよぶが、意見を出し合ったうえ決定する。